

# オンライン授業でもフィードバックを丁寧に

科目名：心理学入門

担当教員：田中観自 准教授（基幹教育院）

形式：リアルタイム型

学年：基幹教育科目

人数：360人

ツール：Teams

評価方法：レポート、授業への貢献度

## Q1. この授業で取り入れられた工夫について、改めて具体的に教えてください

本科目では、心理学のデモンストレーション（錯覚・記憶テスト・意思決定など）をライブ配信で学生に体験してもらうことが高い教育効果を生み出すと判断し、ライブ型の講義形式を採用しました。また、90分のライブ授業を聞くのは疲労感も大きいことから、ライブ授業の時間を55分として、残りは各自で課題に取り組む時間とし、学生が集中できるようにしました。加えて、フィードバックを重視し、毎回の授業で提出された学生からのコメントにすべて目を通し、コメントをつけて返しました。そのうち一部は、授業開始前にスライドショーとして流していました。

現在、待機中です（Microsoft Teams）。  
第5回の優秀コメントを流しています（1スライド約30秒）

◆ 被催眠者が意図せず犯罪を起こした時に責任が問われるのは誰なのかということも気になったからです。授業で催眠について学んだ後、催眠の特徴や効果を悪用した犯罪例があるのか調べてみると、いくつかの事例があるようで、窃盗や性的暴行に悪用されている例が多いようでした。窃盗の例では、強盗犯が人に催眠術をかけて催眠状態に陥った人の貴重品や店のお金を盗むという手口がありました。また、催眠術をかけられて犯罪を起こした場合の責任が誰のものなのか調べてみると、他人を催眠術にかけてコントロール下におき被催眠者を犯罪の道具として利用した人は刑事責任を追及されるようです。また、意図せずに催眠術にかかり犯罪を起こした人は、責任が追及されず犯罪が成立しないそうです。



非常に興味深い調査、どうもありがとう。

スライドショーの様子  
(1スライド 30秒程度で数枚流れてくる)

## Q2. 取り入れた結果、学生の反応はどうか

突然始まったオンライン授業で、フィードバックを実施している授業も少なかったのか、非常に学生から評判が良かったです。授業評価アンケートでも非常に高い評価を得ました。

## Q3. 取り入れるために必要な準備

フィードバックを行うための時間が必要になります。これに一番時間がかかりました。スライドショーでフィードバックを流すために簡単にスライドを作成しなければなりません（上図）、フィードバックさえ終わってれば作成できるので、こちらはあまり大変ではありませんでした。

### ～インタビューー雑感～

360名の学生のコメントにすべて目を通すというところに、まず非常に感銘を受けました。また、授業前にスライドショーを流して、そこで優秀コメントと先生からの一言を紹介するという実践は、オンライン授業で学生が授業前に心の準備を整え、学習モードに切り替え、かつ、先週の内容を思い出す上で非常に効果的な工夫であると感じました。